



12月 

発行責任者
西川 晃二

【校長室より】

五高生としての「誇りと自信」

今回の「校長室より」は、終業式で生徒たちに語った内容を一部改変して転載させていただきます。ご家庭で子どもたちとともに話題にして頂ければ幸いです。

諸君にとって、この2学期は、この平成25年という年は、どういう学期、どういう年だったのでしょうか。長い学期であるが故に諸君にはいろいろな行事に取り組んでもらいました。9月の体育祭、五高祭をはじめとして、10月の衛生看護科の戴帽式、そして2年生の修学旅行と、たくさんの行事がありました。諸君の懸命な取り組みのおかげで、どの行事も非常に素晴らしいものになったのではないかと思います。

特に、体育祭は雨に祟られ、中央体育館での実施でしたが、諸君らは、見事な体育祭を演じ、五高生としての「誇りと自信」を示してくれました。閉会式での全員が肩を組み合っただけの団結の姿は、「輪」の姿は、見る者に感動を与えました。

また、五高祭では、「希望(みち)～歩みを止めるな今の自分～」のテーマのもと、これまた素晴らしい祭りを企画運営しました。諸君自身が楽しむと同時に、参観者をも喜ばせる楽しい催しだったと思います。高校生の文化祭は、ややもすると身内受けするものばかりのものになりがちです。が、今年の文化祭はそうではありませんでした。では、なぜそうなのか。それは諸君ら各自が「希望(みち)～歩みを止めるな今の自分～」というテーマを意識したからにほかなりません。昔から「仕事は人を造る」と言います。その伝で言えば高校生にとっては「行事は人を造る、人を成長させる」ものです。

先日、奥浦慈恵院でクリスマス会がありました。私も招待されました。そこで、初めてクリスマスの意味を悟らされた思いです。その敬虔な思いを、参加者と共有する意義深いひとときを過ごさせて頂きました。クリスマス会の始まりに当たり、「聖なる夜」として、羊飼いが見守る中での、キリストの誕生を演じる子どもたちの寸劇がありました。その後、神父様からお話がありました。お話の枕として、なぜ羊飼いがキリストの誕生の場に登場するのかというお話がありました。ユダヤ教には安息日が設定されており、それはユダヤ教徒であれば誰もが守らねばならぬ戒律であるということです。安息日には仕事をすることはできないし、断食もしなければなりません。しかし、羊飼いはその戒律を守ることができません。なぜならば動物相手の仕事ですから一日たりとも手を休めることができないのです。それ故、人々から差別され虐げられてきた人々であったということです。ただでさえローマ帝国の圧政下、支配され虐げられてきたユダヤ人。さらに、その底辺に位置する羊飼いたちです。彼らに見守られる中、キリストが誕生したのです。逆境の中での誕生であればこそ、万人に通じる一大真理を普遍できたのではないのでしょうか。「誇りと自信」を持ってない彼らの中からこそキリスト(教)は誕生したのです。それは「善人なおもて往生す、いわんや悪人をや」という、煩惱にとらわれた人ほど往生を遂げる機会を得るとする「悪人正機説」を世に示した、我が国の親鸞聖人の教えにも通じるのではないかと思います。

さて、2学期の始業式での校長訓辞を諸君は覚えていますか。その時、政治学者であり、思想家の丸山真男先生の「であることとすること」の話をしました。簡単にいえば「であること」であるためには不断に、日常的に「すること」をしなければ、「であること」は保証されないということです。もっと砕いて言えば、金を貸した「債権者」は、不断に金を借りた「債務者」に対して返済を求めなければ「債権」を失うという話でした。さらに諸君に当てはめて言えば「誇りと自身」を持つ五高生であるがためには、「誇りと自信」を持てるような、不断の、日常からの努力が必要であるということです。

体育祭で、そして五高祭で示した「誇りと自信」は日々の努力から生まれるのです。「五高生」にあぐらをかきことができなく、「誇りと自信」を裏打ちする義務、努力も忘れない諸君であってほしいと切に願います。と、同時に自己に「誇りと自信」を抱くことができない者ほど、不断の努力をする人でなければならないのであります。

それぞれの学年の生徒諸君が、新しい年の始めにそれぞれの目標を立てることができ、また、新しい年が君たちにとって良い年になりますよう祈念いたします。

2年生修学旅行 東京コース（12月2日～6日）

12月2日（月）～6日（金）にかけて普通科普通コース（1～5組）、衛生看護科（7組）の修学旅行（東京コース）を実施しました。大きな活動内容として、①「OB企業訪問&コース別研修」「筑波コース」「病院訪問コース（7組）」、②「班別自主研修」、③「上級学校訪問」、④「ディズニーランド見学」がありました。

①の研修で生徒達は、それぞれのコースで自分自身の将来の職業選択につなげるために、今、必要とされることを実感してきたようです。事前の電話連絡、ホテルから訪問場所までの交通手段調査、「宇宙兄弟」読破、各訪問場所の下調べなどの準備に時間をかけた成果があったと感じています。

②「班別自主研修」では、各班で事前に立てた計画をもとに丸1日かけて東京の街を散策しました。「電車を乗り間違えて反対方向に向かっていった。」「東京の人は歩くスピードが速く、ついていけなかった。」などの声を生徒から聞きましたが、班で協力して無事日程を消化し、思う存分堪能したようです。集合時間近くになり、最寄り駅から走ってホテルに帰る班もありました。

③「上級学校訪問」では、昨年度卒業した先輩や専門学校職員の方に説明をしていただきました。自分の進路実現に向けてハートに火が付いたようです。これから2年生の学習に対する取り組みが変わります。そして、仕上げは④「ディズニーランド見学」です。日本一のテーマパークで働いている人たちの動きを観察しつつ、そのサービスを思う存分楽しんだようでした。

東京コースの修学旅行は終了しましたが、来年2月には6組の修学旅行（スキー）が実施されます。学年団全部での修学旅行ではありませんが、これらの行事を通して2年生の生徒が目的を達成し、進路実現に向け歩みを進めていくことを期待しています。



お台場



東証アローズ見学



ディズニーランド

修学旅行 生徒感想

修学旅行はこれまでずっと楽しみにしてきました。修学旅行までの下調べが結構大変でしたが、班のみんなで協力して何とかまとめることができました。修学旅行なので、楽しむだけでなく学ぶこともしないといけないとはわかっていましたが、実際に修学旅行に行ってみると学ぶことがたくさんありました。

まず、時間を守ることの大切さを改めて実感しました。集団行動をする上で時間を守ることは何をするときにも必要でした。ホテルでの朝食前や出発前の集合など、全体で集まる時は全員が揃わないと始められないし、時間に遅れると大勢の人に迷惑をかけるので、そうならないように早めの行動を心がけました。集合時間に遅れることはなかったので良かったです。

また、集団で動くことは全体で合わせないと成り立たないので、個人の意見ではなくみんなの意見を合わせないといけないと思いました。みんなが少しずつ我慢することも必要だと思いました。

この修学旅行で一番印象に残ったことは、企業訪問です。企業訪問では、まず社長さんの話がありました。社長さんは、「自分で気づいて行動できる人材が欲しい」と言われていました。「自分で気づいて行動する」というのは、学年のテーマでもあり、これからも意識して生活していきたいと思いました。また、社長さんは「素直な人は伸びる」とも言われていました。部活動でも「素直に指導してもらっていることを受け止めて、吸収できる人が伸びる」という話を私はこれまで聞いてきました。もっと素直に周りから良いことを吸収できるような人になりたいです。上級学校訪問では、五高OBの先輩から「自分は負けず嫌いなので、クラスの皆に負けないようにすることを目標として勉強していた」ということを聞いて、この方法は自分にも合っていると思いました。修学旅行が終われば、もう受験モードに切り替えなければなりません。自分の第一希望の大学に合格できるように気持ちを早く切り替えて勉強していきたいと思います。

5日間の修学旅行を終えて、とても充実した気持ちでいっぱいです。なかでも印象に残っているのは、2日目の病院見学・実習です。病院・病棟の雰囲気明るく、医師をはじめ、看護師・介護士・作業療法士、また患者様に関わる病院スタッフの方の接遇が大変素晴らしいことに感動しました。私は、2階東病棟で実習・見学させていただきました。この病棟には「生きる力に寄り添う看護・介護」という目標が掲げられていました。この病棟の患者様には、日常生活の会話や感情の表現を上手く他者に伝えることが大変困難な方もいらっしゃいました。しかし、医療スタッフの方は、どんなケアを提供するにしても、十分な説明を行い、どんなに時間を要しても、最後まで患者様に寄り添って、患者様の訴えを傾聴されており、私はその姿に心を打たれました。今、私たちは、五島病院で実習をさせてもらっているので、今までの自分の患者様に対しての接し方を見つめなおし、私も、患者様に寄り添った看護の提供を、そして治療の援助をしていきたいと思いました。

乗馬・馬のお世話・ターゲットバードゴルフ実習（12月2日～9日）2年スポーツコース

12月2日～9日までの間の6日間で、五島自動車学校様のご厚意により、馬のお世話や乗馬の体験をさせていただくことができました。2年スポーツコース16名を8人ずつの2班に分け、3日間ずつ実習を行いました。始めは大きな馬に緊張し、ビクビクしていた生徒も、最後は馬の移動やブラッシング、爪の掃除、馬舎の掃除など慣れた手つきで作業できるようになっていました。乗馬も想像以上に下半身の筋力を使い、馬術競技等を見る時の考えが変わることでしょう。そして何よりも、実際に馬と触れ合い、馬を肌で感じる事ができた経験を大切にしたいと思います。

また3年生は、ゴルフ実習の導入授業として、ターゲットバードゴルフの練習を行いました。回数を重ねるうちに、段々と振りが安定し、自分の思った通りに身体を動かすことの難しさや、修正力の大切さを実感したのではないのでしょうか。

それぞれの実習で、非常に貴重な体験ができたようです。この経験を、今後の生活にも生かしてほしいと思います。



衛生看護科1年生後期施設実習（12月2日～9日）



12月2日～9日に衛生看護科1年生の生徒は後期の施設実習を行いました。初めは、緊張していた生徒ですが、コミュニケーションや食事介助、排泄や清潔の援助など利用者様との様々な関わりを通し、前期には出来なかった事が出来るようになった達成感、自分が行ったケアに喜んでいただけることの嬉しさを味わう事ができた6日間でした。6日間の実習で直接、利用者様と関わり感じたこと、考えたことを忘れることなく今後の学習を深め、2年次の病院実習に活かして欲しいと思います。お世話になった施設関係者の皆様方、本当にありがとうございました。今後とも、ご指導よろしくお願いたします。

〈生徒感想〉

ケアの最後に、利用者様から「ありがとう」と言って頂いた時には、援助させていただき本当に良かったなと嬉しくなりました。「ありがとう」の一言でこんなにも頑張ろうと思えるんだなと実感することができました。

前期に比べ出来る技術は増えましたが、細かい部分をみるとまだまだ出来ていないことに改めて気づく事ができました。技術面の向上だけでなく、利用者様一人一人の体調や心理状態も把握し個人に合った援助が出来るようになりたいと思いました。



1年生芸術科発表会（12月13日）

12月13日（金）本校メモリアルホールにおいて、1年生の芸術科学習発表会を行いました。音楽選択者はクラス合唱や学年全体での合唱、そして独唱を披露しました。発表会までの準備期間は2学期期末考査を含む一ヶ月と短く、少ない授業数の中でどのクラスも大変苦労しながら練習に取り組みました。当日は、今まで練習したことを発揮し、クラス一丸となって堂々と発表を行うことができました。芸術の授業は音楽と美術の2科目から選択するため、クラスによって男女の人数に大きく差があり、合唱発表においては音量バランスを調整することが最も困難でした。しかし、歌詞の内容からクラスでイメージを共有し、ブレスの仕方・音色・強弱の付け方などの表現を工夫することによって、音量バランスを克服することができました。音楽選択者は今回の芸術科学習発表会を通じ

て、自分の声と他人の声に関心を持ち、お互いの相違点を見つけ、より良い表現を追求していく姿勢を学びました。美術選択者は『友達の苗字を使って風景画を描こう。』というテーマのもと、メモリアルホールの前で作品展示を行いました。4クラス合わせて30名という少数精鋭の作品、皆様、すべてご鑑賞いただきましたか？代表者2名による作品解説では、完成までの苦労話や工夫点などが紹介され、一つひとつの作品をより深く鑑賞することができたのではないのでしょうか。普段は交流のない音楽選択者と美術選択者ですが、今回の発表会で双方共に芸術的感性を磨き、今後の人生をより豊かなものにしてほしいと切に願っています。



学力向上に関する研修会（12月19日）

12月19日（木）放課後に「しま地区進学校における生徒の学力充実の推進のための取組を検証・評価し、来年度以降の取組に生かす」という目的で、本校教職員による学力向上に関する研修会を実施いたしました。ここでは各教科と学力向上委員会の代表が発表を行いました。

教科の取組では、五教科（国語・地歴公民・数学・理科・英語）の代表者が、教科研修会・学校訪問・添削指導などの主な取組を発表しました。また、学力向上委員会は、本校における現状と課題や、今、五島高校全体で考えなければならないことについて発表をしました。今回の研修を今後の指導に役立てていきたいと思ひます。



「一刻千金」

第1学年主任 久保田 幸成

「45分×30名＝1350分」これは何を表した数字だと思いませんか？答えは、私が担当するクラス生徒の時間（1コマ分）の総和です。私を主体として考えると、1コマは45分間ですが、30人の生徒を主体とすると、30倍の時間になるのです。1日4コマの授業だと、さらに4倍（5400分）になります。こう考えると私は本当に責任ある仕事に就いているのだと実感します。生徒や時に保護者を拘束して何時間も他人の時間を消費するわけですから、充実した時間をプロデュースしなければなりません。

もう一つ。各生徒に与えられた時間はどれくらいあると思いませんか？答えは、限度をどの時点に想定するかで違います。高校1年生の終わりまで約100日、高校を卒業するまでは約800日です。さらに結婚し親になる日、初めて孫の顔を見る日、そして死を迎える日まで…。日常生活ではあまり気付きませんが、いずれにしても時間は限られています。日々充実した生活を送る人は、そのことを感覚として身につけています。その感覚を得るためには、想像力を駆使して目標（ゴール）を明確にすることが必要です。五高生はどれだけ時間を使い何のために学び生きるのか、つまり時間の有限性を理解した上で、行動の目標や目的をクリアにしていくことが求められます。

さて、他の誰かと時間を共有することは、例えば家族がそうであるように、大切な産物をもたらします。例えば「喜び」は一人より、共有する人が多いほど強く感じるすることができますよね。私は生徒と共に、同じ時間を過ごす責任を自覚しつつ、時間を浪費しない（させない）よう、自分の時間感覚に磨きをかけたいです。45分にかける努力を惜しまず、「30倍」の喜びを共有する…。これこそ教師たる職業の醍醐味なのかもしれません。

「イチロー」

第2学年主任 山口 一守

12/16（月）、NHKのTV番組「プロフェッショナル」でニューヨークヤンキースの「イチロー」選手が特集されていた。「イチロー」選手の言葉はグッと心に響いてくる。「失敗と屈辱を体に刻み込む」「遥か理想の道に 近道はない」「何があってもコンスタントにやり続ける」といったキーワードが盛り込まれていた。番組終了後、そんな「イチロー」選手の言葉を何度も頭の中で唱えていた。

すると不思議な感覚が生まれてきた。「イチロー選手に負けたくない」笑う人もいるだろう。当たり前だ。同じ土俵に立っていないのだから勝負のしようがない。でも、素直な気持ちだった。

毎日の生活を続けていると、目の前のことをクリアするので精一杯になる。何のために動いているのかさえも忘れる。でも、「本を読む」「TVの特集を観る」「人と話す」という行動から、自分のモチベーションに変化が生まれてくることがある。そして、毎日の何気ない行動に目的意識を見だし、価値ある行動を積み重ねようとする。

これから、迎えようとする冬休みや3学期で何を積み重ねるのか。私は、「イチロー」選手よりも充実した毎日を積み重ねていく。「あの人ならどうするだろう。あの人なら何を考えるだろう。」という創造力、そして、自分をいかにコントロールするかが鍵になってくる。

自分が掲げる理想やゴールに向けて歩を進める。ここまで書くと正直プレッシャーですね。でも、公言したから後はやるだけ。



「受験本番」

第3学年主任 村田 誠

センター試験まで1ヶ月を切り、また、衛生看護科の准看資格試験まで50日余りとなり、学年全体にピリピリとした緊張感を感じるようになりました。三者面談が終わり、いよいよ厳しい現実と向き合わざるを得なくなり、受験生のつらさを感じている生徒も多いと思います。あなたは、つらい気持ちに立ち向かい、懸命に努力を続けていますか？

以前、中国に修学旅行に行ったとき、北京の空港に着いたときから帰るまでの4日間、ずっと一人のガイドさんにお世話になりました。男性で、おそらく40代、流ちょうな日本語を話す中国人だったのですが、その人は、観光案内の途中に「若いときは勉強すべきだ。」という話しを何度もされました。中国の受験戦争の熾烈さについては、日本でも報道されることがあり、知っている人も多いと思います。中国ではここで将来が決まるとも言われており、各試験会場は、受験生、受験生に付き添っている家族、物売り、警察や見物人、さらにはマスコミ関係者等でごった返して、周辺では交通規制が行われるのは勿論のこと、遅刻しそうな学生をパトカーが先導するなど、大学受験はもはや国民的行事とも言えるそうです。

修学旅行が終わりに近づき、ガイドさんから挨拶がありました。「若いうちに苦勞をしておく、将来が楽になります。今、楽をしていると、将来、苦勞することになります。それは、中国でも日本でも同じですよ。今、苦勞をして、一生懸命、勉強してください。」普段、よく言われているかもしれませんが、実感を込めて話しをしてくれたガイドさんの話にみんな心を動かされたようでした。

さて、みなさん、今、苦勞していますか？今、苦勞して懸命に勉強した経験が、将来、絶対に役に立ちます。今、頑張れない人は、将来も頑張れない人になってしまいます。つらくても、頑張り続けたいといけな。つらいからこそ受験は団体戦です。一緒に頑張っているクラスの仲間、学年の仲間、応援している家族や多くの先生方がいます。みんなで受験を乗り切ろう。

「現役生は最後まで伸びる！」

☆年末年始も五島高校は年中無休☆
(8:00解錠、18:00施錠です。)

自分を信じて！

